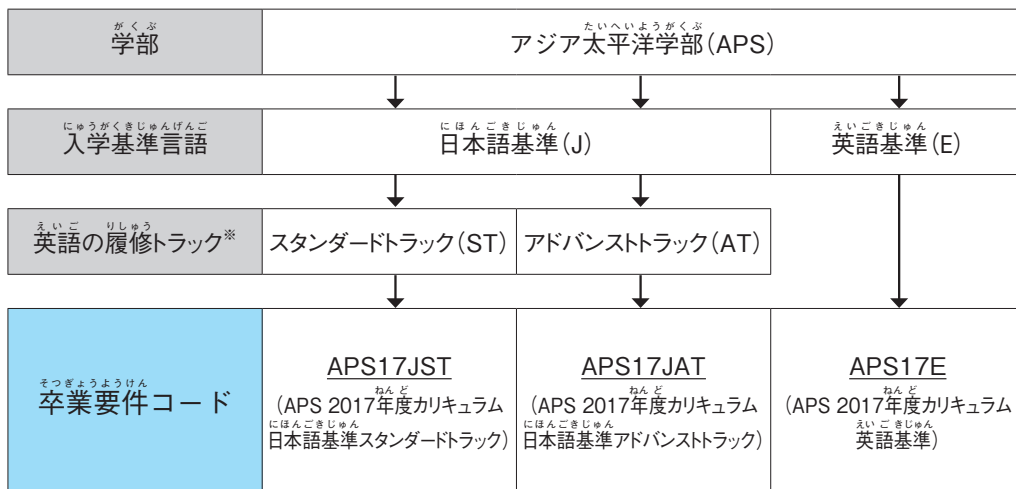


2.2.2 卒業要件コードの確認方法 (APS : 2017年度カリキュラム)

以下のチャートで、自身の卒業要件コードを確認することができます。



*日本語基準学生の英語科目の履修は、入学時のプレースメントテストの結果により、履修トラックと履修開始レベルが決定されます。

履修開始レベル	履修トラック
「英語初級A・B」～「英語準上級A・B」のいずれか	スタンダードトラック
「英語上級1A・1B」か「英語上級2A・2B」	アドバンストラック

2.2.3 卒業要件 (APS : 2017年度カリキュラム)

アジア太平洋学部 (APS) を卒業するためには、下表の自身の卒業要件コードの列に○が付されている要件を全て満たす必要があります。表中の「詳細」に記された参照先も必ず確認してください。

No.	卒業要件	詳細	アジア太平洋学部 (APS)		
			APS17JST	APS17JAT	APS17E
1	合計124単位以上を修得していること		○	○	○
2	言語必修科目の単位を全て修得していること (もしくは履修免除されていること)	2.2.12 (p.49)	○	○	○
3	各科目分野の必要単位数を修得していること	※ 1	○	○	○
4	英語開講科目を20単位以上修得していること (日本語基準国内学生のみ)	※ 2	○	○	—
5	自身が選択した学修分野の必修科目(共通 教養科目)を2単位以上修得していること	2.2.4 (p.33)	○	○	○
6	自身が選択した学修分野の専門教育科目を 28単位以上修得していること	※ 3	○	○	○

※1 各科目分野で卒業に必要な単位

APS17JST

科目分野	必要単位数	合計
英語	24単位 (卒業要件 2 参照)	124単位以上 (卒業要件1,4参照)
共通教養科目	16単位 (卒業要件 5 参照)	
言語教育科目および共通教養科目	0単位	
APS 専門教育科目	62単位 (卒業要件 6 参照)	
他学部科目	0単位	
要卒集計外科目	0単位	

APS17JAT

科目分野	必要単位数	合計
英語	12単位 (卒業要件 2 参照)	124単位以上 (卒業要件1,4参照)
共通教養科目	16単位 (卒業要件 5 参照)	
言語教育科目および共通教養科目	12単位	
APS 専門教育科目	62単位 (卒業要件 6 参照)	
他学部科目	0単位	
要卒集計外科目	0単位	

APS17E

科目分野	必要単位数	合計
日本語	16単位 (卒業要件 2 参照)	124単位以上 (卒業要件 1 参照)
共通教養科目	16単位 (卒業要件 5 参照)	
言語教育科目および共通教養科目	8単位	
APS 専門教育科目	62単位 (卒業要件 6 参照)	
他学部科目	0単位	
要卒集計外科目	0単位	

- ※2 日本語基準国内学生は、英語で開講される共通教養科目もしくは専門教育科目(自学部および他学部科目)を20単位以上修得することが必要です。言語教育科目や両言語開講科目(E/J)は、英語開講科目として認められません。なお、日本語基準国際学生はこの英語開講科目20単位以上修得の要件を満たす必要はありません。
- 日本語基準学生は国内学生、国際学生とともに、英語開講科目を履修するためには「英語中級A・B」の単位修得(もしくは履修免除されていること)が必要です。ただし、スタンダードトラックの日本語基準国内学生のみが受講できる「APSブリッジプログラム」については、英語開講科目ですが、「英語準中級A・B」修得後から履修可能です。「APSブリッジプログラム」は「英語準中級A・B」修得後から「英語準上級A・B」を修得するまでのセメスターで履修科目登録をすることができます。一度修得すると、再度履修科目登録をすることはできません。
- ※3 各学修分野の科目は、60ページ「2.2.14 2017年度カリキュラム図」または、64ページ「2.2.15 2017年度カリキュラム科目一覧」を確認してください。

2.2.4 コア科目、各学修分野の必修科目 (APS)

コア科目 (「APS入門」、「地域研究入門」)

社会科学は基本的に、〈研究対象としての社会〉と〈それを考察するための考え方や、考察するための理論的枠組み〉という2つの側面から成り立つとされており、APSはそれに準じ、アジア太平洋地域という研究対象社会と、それを考察するための考え方や理論的枠組みとしての学修分野を基本構造としています。この2者を学ぶことが、APSの基本であり、「APS入門」は、後者の、それぞれの分野独自の考え方や理論的枠組みを学ぶことにより、4学修分野の専門領域を知ることが目的とし、「地域研究入門」は前者の研究対象地域としてのアジア太平洋を学ぶための手法を学ぶことを目的として設置されています。この2科目を修得することにより、APSの理念と目的を知ることができます。

なお、下表の通り「APS入門」は大学によって自動的に登録されますが、「地域研究入門」は履修する場合は学生が自身で登録する必要があります。

<コア科目>

科目名 (科目分野)	科目概要	登録	大学による 履修登録時期
APS入門 (APS専門 教育科目)	アジア太平洋学部に入学者が学ぶべき情報を集約した科目です。 ①大学とは何か、何をすべきところか ②アジア太平洋学部とはどのような学部なのか、どのような学修をする学部なのか。そもそもアジア太平洋学とは何か ③アジア太平洋学部の4学修分野ではそれぞれどのような学修、研究ができるのか。各学修分野の教員によるリレー講義によってこれら3点を学びます。本科目を受講する中で、4年間で何を学修するかを考え、卒業時の自らの目標が明確になっていきます。	自動 登録	日本語基準 学生： 春 semester (1回生時) 英語基準 学生： 第1 semester
地域研究 入門 (APS専門 教育科目)	アジア太平洋地域を理解するための基礎を学ぶ科目です。アジア太平洋地域の固有性や多様性を総合的に、多角的に理解することを目指します。同時にアジア太平洋地域を対象にする地域研究とはどのような学問領域なのか、なにを問題とし、どのような目的をもっているのかについて概括的に、網羅的に把握します。本科目はアジア太平洋地域を理解するための基本的知識を学ぶことによって、アジア太平洋地域をさらに深く、広く学んでいくための初めのステップとして位置づけられます。	学生が 登録	

各学修分野の必修科目

APSでは、各学修分野に必修科目が設置されています。「環境・開発」分野の必修科目として「環境学入門」および「開発学入門」が、「観光」分野の必修科目として「観光学入門」が、「国際関係」分野の必修科目として「国際関係論入門」が、「文化・社会・メディア」分野の必修科目として「文化・社会学入門」および「メディア入門」が設置されています。

そもそも各学問がどのような学問なのか、なにを問題とし、どのような目的をもった学問領域なのかを概括的、かつ網羅的に把握します。また、各学問が対象とするものを理解するための基本的知識や基本的理論を学ぶことによって、当該学問分野をさらに深く、広く学んでいくための最初のステップとして位置づけられます。

なお、アジア太平洋学部を卒業するために必要な要件のひとつに以下が定められています。

- 分野必修科目のうち、自身が申請した学修分野に配置された分野必修科目を2単位以上修得していること (2.2.3 の要件 5 に該当)

各学修分野の必修科目

学修分野	科目名 (科目分野)	登録
環境・開発	環境学入門 (共通教養科目)	学生が登録
	開発学入門 (共通教養科目)	
観光学	観光学入門 (共通教養科目)	
国際関係	国際関係論入門 (共通教養科目)	
文化・社会・メディア	文化・社会学入門 (共通教養科目)	
	メディア入門 (共通教養科目)	

2017年度カリキュラム(APS)

2.2.5 卒業要件確認表 (APS)

卒業要件コード
APS17JST
(P.30参照)

<p>※2 16単位のうち2単位は自身が選択した学修分野の必修科目を修得する必要があります。 ・環境・開発 ・観光学 ・国際関係 ・文化・社会・メディア → 「環境学入門」もしくは「開発学入門」 → 「観光学入門」 → 「国際関係論入門」 → 「文化・社会・メディア」もしくは「メディア入門」</p>	<p>※3 プレイズメントテスト等の結果により必修言語科目が免除された場合、「言語教育科目および共通教養科目」分野から免除された単位数分の科目を修得する必要があります。</p>
--	--

科目分野	必要単位数	合計
英語	24単位	124単位以上
共通教養科目	16単位	
言語教育科目および共通教養科目	0単位	以上
APS 専門教育科目	62単位	
他学部科目	0単位	以上
要卒集計外科目	0単位	

※6
日本語基準国内学生は、英語で開講される共通教養科目もしくは専門教育科目(他学部科目含む)を20単位以上修得する必要があります。

※1
要卒集計外科目とは卒業要件の「124単位」に集計されない科目です。「プロジェクト研究」「ボランティア研究」は各8単位まで、「インターンシップ」「ビジネスインターンシップ」は合計14単位までは「124単位」に含むことができますが、それぞれ上限を超えて修得した場合には、超過分は要卒集計外の単位として集計されます。

※5
必要単位数が0となっている分野の科目は修得しなくても、その条件を満たしていれば卒業は可能です。

※4
62単位のうち28単位は各学修分野で定められた専門教育科目を修得する必要があります。

卒業要件コード
APS17JAT
 (P.30参照)

※2
 16単位のうち2単位は自身が選択した学修分野の必修科目を修得する必要があります。
 ・環境・開発 → 「環境学入門」もしくは「開発学入門」
 ・観光学 → 「観光学入門」
 ・国際関係 → 「国際関係論入門」
 ・文化・社会・メディア → 「文化・社会学入門」もしくは「メディア入門」

※3
 プレシメントテスト等の結果により必修言語科目が免除された場合、「言語教育科目および共通教養科目」分野から免除された単位数分の科目を修得する必要があります。

科目分野	必要単位数	合計
英語	12単位	124単位以上 ※6
共通教養科目	16単位 ※2	
言語教育科目および共通教養科目	12単位 ※3	
APS専門教育科目	62単位 ※4	
他学部科目	0単位 ※5	
要卒業計外科目 ※1	0単位	

※6
 日本語基準国内学生は、英語で開講される共通教養科目もしくは専門教育科目(他学部科目含む)を20単位以上修得する必要があります。

※1
 要卒業計外科目とは卒業要件の「124単位」に集計されない科目です。「プロジェクト研究」「ボランティア研究」は各8単位まで、「インターンシップ」「ビジネスインターンシップ」は合計14単位までは「124単位」に含むことができますが、それぞれ上限を超えて修得した場合には、超過分は要卒業計外の単位として集計されます。

※5
 必要単位数が0となっている分野の科目は修得しなくても、その他の条件を満たしていれば卒業は可能です。

※4
 62単位のうち28単位は各学修分野で定められた専門教育科目を修得する必要があります。

卒業要件コード
APS17E
(P.30参照)

※3
プレシメントテスト等の結果により必修言語科目が免除された場合、「言語教育科目および共通教養科目」分野から免除された単位数分の科目を修得する必要があります。

※2
16単位のうち2単位は自身が選択した学修分野の必修科目を修得する必要があります。
 ・環境・開発 → 「環境学入門」もしくは「開発学入門」
 ・観光学 → 「観光学入門」
 ・国際関係 → 「国際関係論入門」
 ・文化・社会・メディア → 「文化・社会学入門」もしくは「メディア入門」

科目分野	必要単位数	合計
日本語	16単位	124単位 以上
共通教育科目	16単位 ※2	
言語教育科目および共通教養科目	8単位 ※3	
APS 専門教育科目	62単位 ※4	
他学部科目	0単位 ※5	
要卒業計外科目 ※1	0単位	

※1
要卒業計外科目とは卒業要件の「124単位」に集計されない科目です。「プロジェクト研究」「ポランティア研究」は各8単位まで、「インターンシップ」「ビジネスインターンシップ」は合計14単位までは「124単位」に含むことができますが、それぞれ上限を超えて修得した場合には、超過分は要卒業計外の単位として集計されます。

※5
必要単位数が0となっている分野の科目は修得しなくても、その条件を満たしていれば卒業は可能です。

※4
62単位のうち28単位は各学修分野で定められた専門教育科目を修得する必要があります。